



こんな本も読んでみましょう

選者：川崎市立西有馬小学校 教諭 福山 里加

日本の
昔話

「まんじゅうこわい」

人は、それぞれいろいろなことをかんがえるものです

へいさんのいえに、ともだちがたくさんあつまりました。「へびがこわい」「ありがにがて」と、みんなくちぐちに、にがてなものをいいあいました。まっちゃんがこわいものは、なんとまんじゅう。まんじゅうをまくらもとにおかれたまっちゃんは、おきたらどうしたのでしょうか。

日本の
昔話

「ねことねずみ」

ねこのやさしさになみだがポロリ

おじいさんとおばあさんにだいじにそだてられたねこがいました。あるひ、納屋（なや）でだいじなまめをねずみがひろっているのをはっけんしました。ねずみに「おかあさんがげんきになるまでまってほしい」といわれたねこは、そのあとどうしたのでしょうか…？

日本の
昔話

「なしとりきょうだい」

ふしぎなこえのするほうへいくと…

むかし、びょうきのおかあさんと3にんのおとこのこがいました。おかあさんが「たべたい」といったやまなしをとりにやまおくへいくと、3つにわかれたみちのまんなかで「いけっちゃ かさかさ いくなっちゃ かさかさ」と3ぼんのささのがおしえてくれますが…。さて、ぶじにやまなしをとることはできたのでしょうか。

長野県
の昔話

「うばすて山」

くにをすくったのは、おとしよりのちえでした

むかし、70 さいになったおとしよりをやまにすてるきまりがありました。ある日、となりのくにからむずかしいなぞなぞがとどきました。だれもわからないもんだいをといたのは、やまからこっそりつれもどしたおとしよりでした。さて、このあとおとしよりはどうなるのでしょうか…？